

# バージョンアップ手順書

システムを複数台でご使用の場合、アプリケーションのバージョンアップはシステムをお使いの全てのパソコンで作業を行います。また、作業を行うパソコン以外では、システムの画面を全て終了してください。

念のため、作業前にバックアップをお取りください。

- 1台でご使用の場合・・・1→2→3→4の順に作業を行います。
- 複数台でご使用の場合・・・1→2→3→4→5の順に作業を行います。
- 複数拠点があり、サーバ機を設置していない拠点でご使用の場合・・・5の作業を行います。

## 1. バックアップ

バージョンアップの前には、下記のいずれかの手順で必ずバックアップを行ってください。

※複数台でお使いのお客様はいずれか1台のパソコンで行ってください。

- ・メニュー画面から「日次業務」→「データバックアップ」
- ・メニュー画面下部のお好みメニューの「データバックアップ」
- ・メニュー画面終了時に表示される自動バックアップ実行画面

## 2. バージョンアップの準備

※複数台でお使いのお客様は親機・サーバ機で行ってください。(別拠点がある場合も同様)

※バージョンアップ処理を開始する前に使用中のプログラムをすべて終了してください。

1. すべてのパソコンで RacroS II を起動しない状態にし、パソコンに「バージョンアップ DVD」をセットします。DVDの色は緑です。

DVD をセットした際に下図のメッセージが表示された場合は・・・

下記の手順で「rundll32.exe の実行」をクリックします。

BD-ROM ドライブ (I:) **Racro...**  
このディスクに対して行う操作を選んでください。

メディアからのプログラムのインストール/実行

- rundll32.exe の実行  
Microsoft Windows により発行

その他の選択肢

- フォルダを開いてファイルを表示  
エクスプローラー
- 何もしない

バージョンアップメニュー画面が自動的に表示されない場合は・・・

次の操作を行ってバージョンアップメニュー画面を表示してください。

- ① Windows の「スタート」ボタン (旗のマーク) を右クリックして「エクスプローラー」を選択します。
- ② 「PC」または「コンピューター」を選択します。
- ③ DVD ドライブを右クリックして「開く」を選択します。
- ④ 「SMENU」をダブルクリックします。



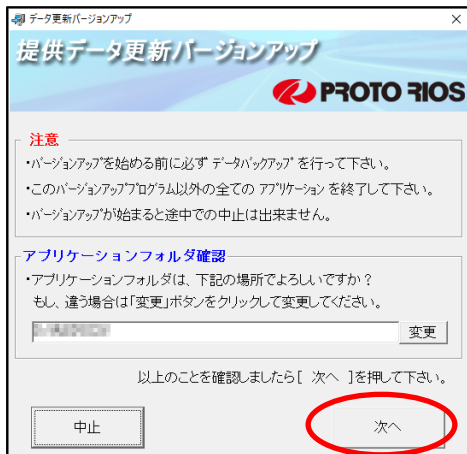
2. バージョンアップメニューが表示されましたら、次の手順に進みます。

アプリケーション『バージョンアップ』メニュー

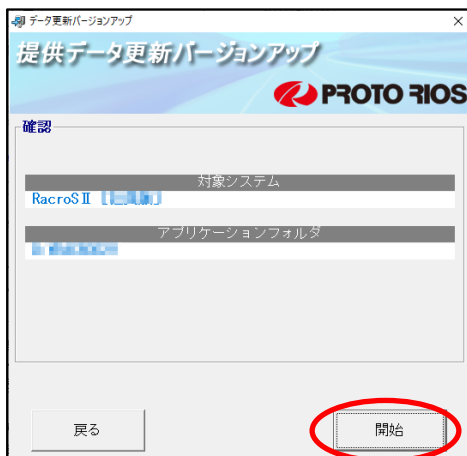
- 整備提供データのバージョンアップ
- アプリケーションのバージョンアップ

### 3. 整備提供データのバージョンアップ

1. 「整備提供データのバージョンアップ」をクリックします。
2. 「次へ」をクリックします。



3. 「開始」をクリックします。

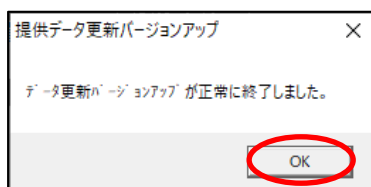


4. 確認メッセージにて「はい」をクリックすることでバージョンアップ処理が開始されます。

バージョンアップが完了するまで、**30分~40分**程かかります。

※お客様がご利用中のパソコンの環境により異なります。次の画面が表示されるまで、そのままお待ちください。

5. 「OK」をクリックします。



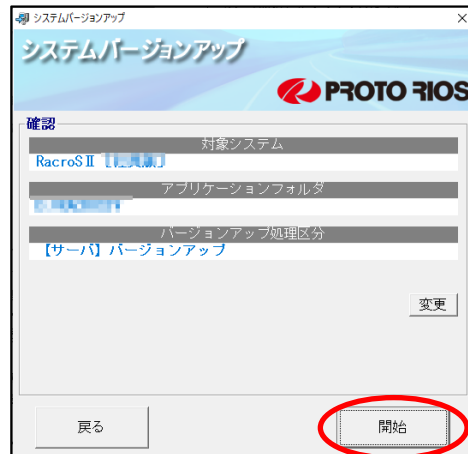
続いてアプリケーションのバージョンアップを行います。

### 4. アプリケーションのバージョンアップ

1. 「アプリケーションのバージョンアップ」をクリックします。
2. 「次へ」をクリックします。



3. 「開始」をクリックします。

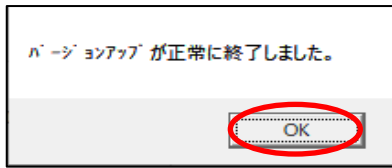


4. 確認メッセージにて「はい」をクリックすることでバージョンアップ処理が開始されます。

バージョンアップが完了するまで、**5分~10分**程かかります。

※お客様がご利用中のパソコンの環境により異なります。次の画面が表示されるまで、そのままお待ちください。

5. 「OK」をクリックします。



弊社発送の DVD は再インストールなどに使用するため、過去 2 回分の保管をお願いします。不用品な DVD は、お住いの地域の分別ルールに従って廃棄をお願いします。

※**钣金オプション**をお使いのお客様  
钣金提供データ DVD(青色)をパソコンにセットしてお使いください。

セット時、自動再生画面が表示されましたら、「何もしない」を選択し、画面を終了してください。  
DVD 内のフォルダが表示される場合は、右上の [×]をクリックし、画面を終了してください。

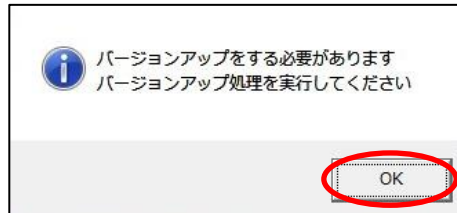
**1 台でお使いの方は、ここでバージョンアップ作業は終了です。**

**複数台でお使いの方は、引き続き 5. アプリケーションのバージョンアップ (子機) にお進み下さい。**

## 5. アプリケーションのバージョンアップ (子機)

**親機 (またはサーバ機) のバージョンアップを完了後、以下の作業を進めてください。**

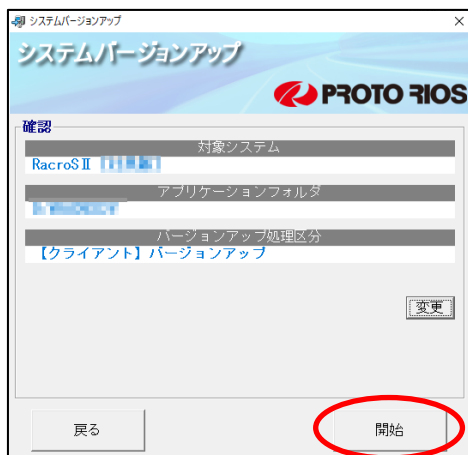
1. RacroS II のアイコンをダブルクリックします。
2. バージョンアップ確認の画面が表示されますので、「OK」をクリックします。



3. 「次へ」をクリックします。



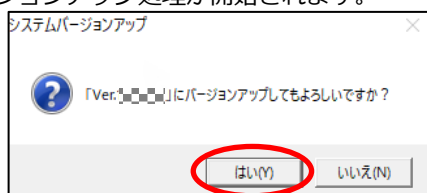
4. 「開始」をクリックします。



バージョンアップの画面にて「【サーバ】バージョンアップ」と表示される場合は、「変更」ボタンから「【クライアント】バージョンアップ」を選択後、「確定」をクリックしてください。



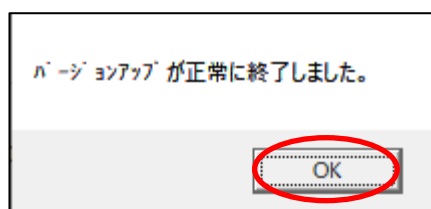
5. 確認メッセージにて「はい」をクリックすることでバージョンアップ処理が開始されます。



バージョンアップが完了するまで、**5分～10分程**かかります。

※お客様がご利用中のパソコンの環境により異なります。次の画面が表示されるまで、そのままお待ちください。

6. 「OK」をクリックします。



弊社発送の DVD は再インストールなどに使用するため、過去 2 回分の保管をお願いします。不用品 DVD は、お住いの地域の分別ルールに従って廃棄をお願いします。

※**銀金オプション**をお使いのお客様

銀金提供データ DVD(青色)をパソコンにセットしてお使いください。

セット時、自動再生画面が表示されましたら、「何もしない」を選択し、画面を終了してください。DVD 内のフォルダが表示される場合は、右上の [×] をクリックし、画面を終了してください。

バージョンアップ作業は以上で終了です。  
他に子機（クライアント機）をお使いの場合は、同様にバージョンアップを行ってください。

バージョンアップ後の変更点は、次ページ以降をご確認ください。

# ●Ver.2404.00 での変更点

(※お使いのオプションにより使用できる機能が異なります。各項目タイトル部分をご確認ください。)

## 整備伝票 類似検索機能拡充

整備伝票の類似検索機能に関して、伝票種別/車両/顧客に関する検索条件を追加しました。

また検索結果の一覧へ伝票種別/登録番号/顧客名の項目を追加し、罫線を設けることで視認性の向上を図りました。

タイトル境目にマウスを合わせることで、カーソル両端が矢印になります。この状態でマウスをドラッグし、列全体の幅を調整できるようにしました。

スクロールバーを追加しました。

「原価情報も取込む」に☑チェックを入れることで、過去明細を今回の整備伝票へ取込む際、原価情報も併せて取込むことが可能です。(粗利管理オプションをご使用の場合)

日付範囲の初期値は2年間です。「設定」をクリックし、日付範囲を変更することも可能です。

作業日	伝種	登録番号	車種名	型式	初年度	利用内容	顧客名
5/9	納品	練馬 500す5555	ノートハイブリッド	6AA-E13	R: 2/7	車検(乗用)	小高 進
5/10	納品	足立 500さ1111	ノートハイブリッド	6AA-E13	R: 2/10	車検(乗用)	阿部 太郎

## 整備伝票 タイヤサイズ、バッテリーサイズの参照機能追加

整備伝票の「作業内容・使用部品名」欄で▼をクリックすることで、タイヤサイズ、バッテリーサイズを参照し、明細へ挿入することができるようにしました。

部品行で参照機能を使用します。この参照機能を使用するには、予め「項目マスター保守」(各マスタ設定→項目情報設定)で諸元関連付けを行う必要があります。

【車検証-装備】画面で選択しているタイヤサイズが候補として表示されます。選択することで、明細へ挿入することができます。

車種	駆動方式	ミッション	フルーキー	Rブレーキ	TC/NA	ABS	タイヤサイズ	バッテリーサイズ	プラグ本数
88	2WD	CVT	ディスク	ドラム	NA		前後 185/65R15 夏 185/65R15 冬	LN1	3本

一般社団法人 日本中古自動車販売協会連合会（以降、JU と略）の準拠確認を受けた用紙を追加しました。新用紙を選択することで、印字内容、入力項目が変更となります。

**JU モデル注文書に準拠しておりますので、今回追加した新用紙の使用を推奨します。**

対象の出力帳票・・・罫線付印刷(AF51 型)A4 ※当社推奨

The image shows a complex Japanese invoice form for a car purchase. It is annotated with red circles and numbers 1 through 13, indicating specific changes or features. The form includes sections for:
 

- ① Vehicle details (車名, 型式, 走行距離, etc.)
- ② Warranty information (保証の有無, 保証期間, etc.)
- ③ Seller and buyer information (フリガナ, 氏名, 住所, etc.)
- ④ Price breakdown (車両本体価格, 特別引当金, etc.)
- ⑤ Payment schedule (支払回数, 支払期間, etc.)
- ⑥ Tax and fee calculations (自動車税, 印紙税, etc.)
- ⑦ Seller information (信販会社, 備考, etc.)

 The right side of the form contains a detailed list of fees and taxes, and a summary table at the bottom right.

罫線付印刷(AF51 型)A4

◀従来用の紙との違い▶

- ① 「年式」から「初度登録」へ項目名称を変更しました。※印刷物だけの変更となります。
- ② 「保証の有無」は保証期間と保証内容を明示できるような記載へ変更しました。「定期点検整備実施状況」の欄を追加しました。【任意保険情報・その他】画面で選択します。

申込日	R: 6年 6月 1日	加入区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 入替
納車場所	1 ご購入者宅	入替(他社)	<input checked="" type="checkbox"/> 自社 <input type="checkbox"/> 他社
納車予定日	R: 6年 7月 1日	支払区分	<input checked="" type="checkbox"/> 分割払い <input type="checkbox"/> 一括払い
保証の有無	1 保証つき	種 目	保険金(万) 保険料(円)
保証内容	( 自社保証・計318項目 )	車 両	0 0
保証期間	12 ヶ月 又は 10,000 Km	対 人	0 0
定期点検整備	1 定期点検整備つき(車両価格に整備費用を含みます)	対 物	0 0
実施状況	要整備個所 0	搭 乗 者	0 0
修復歴の有無	2 無し		0 0
修復内容	( )	合 計	0 0
		満 期 日	0年 0月 0日
		保 険 種 類	0
		年 齢 条 件	0

- ③ 車検残のある下取車に未経過相当額がある場合、下取車価格に含めて計算します。それぞれの金額を明示するため「自動車税(種別割)未経過分相当額」、「自賠責保険料未経過分相当額」の欄を設けました。必要に応じて【販売明細】画面で入力します。(他の出力用紙も対象)  
上記に伴い、「車販見積一覧」の集計も変更されます。

車両販売価格		頭金 (申込金)	
① 車両本体価格	1,100,000	現金	0
② 特別値引き	56,790		
③ 車両本体課税対象額 ①-②+③	1,043,270	参考内消費税	
④ 付属品計	49,800	下取車価格	300,000
⑤ 特別仕様計	46,000	自動車税(種別割)未経過分	26,400
	0	自賠責保険料未経過分	9,990
	0	下取車内消費税	27,273
	0	下取残値	0
⑥ 車両販売価格 ④+⑤+⑥+⑦+⑧	1,138,870	下取価格計	336,330
⑦ 税金・保険料	47,690		

- ④ 「車両販売価格」から「現金販売価格」へ項目名称を変更しました。  
⑤ 「支払条件」に関して、内訳をわかりやすく表現するために項目名称を追加・変更しています。

「頭金計」 = 「頭金」 + 「下取車総額」 + 「リサイクル預託金相当額の合計」  
「割賦元金」 = 「見積の合計金額」 - 「頭金計」 ※従来の「残金(所要資金)」と同様の意味合い  
「割賦販売価格」 = 割賦販売も含めた請求総額

- ⑥ 「支払方法」、「1回目支払日」、「2回目以降支払日」の欄を設けました。必要に応じて【支払内訳】画面で入力します。末日の場合、「99」と入力します。

元金		元金	
現金支払	0	現金支払	0
クレジット会社	1 アプラス	クレジット会社	0
金利	5.800 % (汎用)	金利	0.000 %
支払回数	12 回	支払回数	0 回
支払総額	928,530	支払総額	0
割賦手数料	28,530	割賦手数料	0
ボーナス回数	2 回	ボーナス回数	0 回
ボーナス増額	232,000	ボーナス増額	0
月々支払	38,700	月々支払	0
1回目支払	38,830	1回目支払	0 0年 0月 0日
2回目以降	38,700 × 11回	2回目以降	0 × 0回 末日
ボーナス時	232,000 × 2回	ボーナス時	0 × 0回

- ⑦ 「備考」の印刷領域を調整しました。文字数制限に変更はありません。  
⑧ 「発行日付」の印刷箇所を変更しました。  
⑨ 自社名の印刷領域を調整しました。印刷可能桁数が少なくなりましたので、プレビューにて確認後、必要に応じて「車販自社名設定」(各マスタ設定→自社名設定)にて調整してください。  
⑩ 「申込日」の欄を追加しました。「納車場所」も記載するように変更しました。

申込日	R: 8年 6月 1日	保 区 分	加入区分	<input type="checkbox"/> 新規	<input checked="" type="checkbox"/> 入替
納車場所	1 ご購入者宅		入替(他)	<input checked="" type="checkbox"/> 自社	<input type="checkbox"/> 他社
納車予定日	R: 8年 7月 1日		支払区分	<input checked="" type="checkbox"/> 分割払い	<input type="checkbox"/> 一括払い

- ⑪ 【付帯費用】画面の「税金・保険料/販売諸費用・非課税/販売諸費用・課税」で「フリー項目」および「ロードサービス加盟料/査定料」が金額未入力の場合には印刷されないように調整しました。  
⑫ 下部にある四角形枠エリアの文面に関して、赤文字で強調表示し、視認性を高めました。  
⑬ 「印紙」の貼付けスペースを追加しました。

## 「出力用紙の確認方法」

出力用紙は【印刷確認】画面で[詳細設定]をクリックし、確認および変更することができます。



## 軽自動車の車検証 IC 化に伴う、QR 読取オプションの対応

OP

軽自動車の車検証 IC 化に伴い、QR コードへ燃料に関する項目が追加されました。それに伴い、QR 読取オプションに関してシステム対応しています。

## 「e-JiBAi」連携 東海日動のゲートウェイ URL 変更

OP

東海日動のゲートウェイ URL が新しくなりました。新しい URL を「ゲートウェイ URL マスタ保守」(各マスタ設定→保険情報設定→e-JiBAi 変換マスタ保守)へ追加しました。

**「e-JiBAi」連携オプションを使用しているお客様のみ、設定変更が必要です。**

**ゲートウェイ URL マスタ保守**

\*'=JA 共済 \*#'=#'=全労済 登録件数 14件

コード	ゲートウェイ名	表示順	ゲートウェイアドレス
1	NTTデータ	0	https://www.hoken-gw.net/sso/fw/eJIBAI/main/ag
2	富士通	0	https://www.hokengw.ne.jp/sso/fw/eJIBAI/main/ag
3	日立	0	https://www.h.netforward-gw.jp/eJIBAI/main/ag
4	三井住友	0	https://ms.ms-ad-g.com/iwproxy/eJIBAI/main/ag
5	東海日動	0	https://www.tokiomarine-nichido/dfw/FE/ZS1101/
6	日本興亜	0	https://www.nipponkogyo.co.jp/main/ag
7	AD損保	0	https://www.adinsur.com/main/ag
8	富士火災	0	https://www.fuji-fire.com/COMPASS51/seibi/
9	日新火災	0	https://www.nissin-fire.com/COMPASS51/seibi/
10	AIG	0	https://www.aig.com/COMPASS51/seibi/
11	AIG2018	0	https://intagent.aig.co.jp/aig/HWAW/webon/HTML/ejibai.html
12	* JA 共済	0	https://www2.ja-kyosai.or.jp:10080/toritugi/seibi
13	# 全労済	0	https://www.hoken-symnet/central/fw/eJIBAI/main/ag
14	東海日動2024	0	https://int.agt.millea.jp/tokiomarine-nichido/dfw/eJIBAI/mai

「東海日動 2024」を選択し、[修正]をクリックします。(ダブルクリックでも可)

表示順を入力しておくことで、選択時に上部に表示され、選択しやすくなります。

例：東海日動 2024 → 表示順「1」  
AD 損保 → 表示順「2」

ゲートウェイ	14: 東海日動2024
契約区分	14: 東海日動2024
申込者	1: NTTデータ 2: 富士通



株式会社自研センターから補修塗装指数の一部改定が発表されました。

《改定内容》

①ブース加算適用範囲の拡大

従来、一部の塗料/塗膜の組み合わせの場合にのみ、ブース加算が適用されておりましたが、塗料に関わらずブース加算を適用できるようになりました。ただし、以下の部分に変更ありません。

- ※所定のブース(指数マニュアル記載の定義)を使用した場合に1回加算ができる。
- ※樹脂バンパ補修塗装指数は数値の中にブース使用時間が含まれているため、別途計上はできません。
- ※高機能塗装及び3コートパールの場合は、ブース使用時間が加算基礎数値に含まれているため、別途計上はできません。

②カラークリア塗装に関する加算数値の新設

現在未設定のカラークリア塗装に関して、3コートパール塗装指数に加算数値が新設されました。車種共通の付加数値にカラークリアの加算数値が追加されました。(外板パネルおよび樹脂バンパ)

指数に関して詳しくは弊社システム搭載の「指数テーブルマニュアル」をご確認ください。  
 (【钣金伝票発行】画面→ヘルプ→共通指数マニュアル) ※2024年4月版以降

《弊社システムの対応》

上記に伴い、システムでは以下の点を変更しました。

- ①弊社システムのブース加算適用範囲を広げました。
- ②カラークリア塗装の加算数値に関しては、【塗装選択-付加作業】画面から別途計上してください。1色目(メイン)の塗膜が「3CP」の場合に限り、加算数値を計上することができます。(下画面参照)

No.	RL	塗装箇所	作業内容	指数	技術料
201		カラークリア加算 パネル	カラークリアを含む	2.10	
201		カラークリア加算 パネル	カラークリアを含まない	0.90	
202		カラークリア加算 バンパ		0.10	

- ⚠ カラークリア塗装の加算数値に関しては今後、条件等の変更の可能性もあるため、現状では手動での選択となります。
- ⚠ 塗料メーカーによってコート数が異なる場合があるため、塗料メーカーからの指定に則って手動で3コートパールに変更してください。

「弥生会計」連携において、出力した仕訳データを振替伝票として扱うように調整しました。従来は「弥生会計」側で1仕訳毎に個別の伝票 No が振られていましたが、弊社システム側の伝票 No を引用し、対応する複数の仕訳に対して同一の伝票 No を入れるように変更しました。

整備伝票発行

照会 呼出し元は納品書

受付No: 402 納品No: 8 指示No: 見積No: 計上区分: 0 (ありなし) 拠点: 1 大阪

顧客名: 50 高橋 海琉 利用内容: 1 車種

請求先: 50 高橋 海琉 車種ランク: 0

伝票宛先: 1 請求先 納品先 請求 受付担当: 0

死後備考: 1月 10日 整備担当1: 0

登録番号: 仙台 550 121 型式 DBA-L175S 伝票日付: R: 6年 1月 10日 整備担当2: 0

車名車種: タイハツ ムウ 走行距離: 52,525 Km レポート: 工賃 6,000

売上	売上額	値引率%	値引額	売上計
工賃	17,400	0.00	0	17,400
販売金	0	0.00	0	0
塗装	0	0.00	0	0
外注	0	0.00	0	0
手数料	0	0.00	0	0
作業計	17,400		0	17,400
部品	0	0.00	0	0
材料	0	0.00	0	0
油	0	0.00	0	0
車両	0	0.00	0	0
部品計	0		0	0
売上小計	17,400		0	17,400
参考消費税			1,740	
売上合計			19,140	

諸費用	項目	金額
1	1 自賠責保険	19,730
2	2 重量税	6,600
3	3 印紙代	1,100
4	4 *代行料	8,000
5	9 証紙代	1,000
6	0	0
7	0	0
8	0	0
9	0	0
10	0	0
	諸費用小計	36,430
	参考消費税	800
	諸費用合計	37,230

次回車検満了日: 8年 1月 25日 課税計(10.0%): 25,400 消費税額: 2,540 非課税計: 28,430 預り金: 0

【整備伝票発行】画面

仕訳データ出力 (中間ファイル)

種類	借方勘定科目	補助科目	貸方勘定科目	補助科目	金額
売上	売掛金	-	売上高	-	19,140
売上	売掛金	-	売上高	代行料	8,800
売上	立替金	その他	現金	-	1,000
売上	立替金	印紙代	現金	-	1,100
売上	立替金	自賠責	現金	-	19,730
売上	立替金	重量税	現金	-	6,600

伝票 No.8 内にある複数の仕訳データ

「弥生会計」へ仕訳データのインポート

「弥生会計-仕訳日記帳」

複数の仕訳データに関して、インポート後、弊社システム側の伝票 No. 8 が引用されます。

日付	借方勘定科目	借方金額	借方補助科目	消費税額	貸方勘定科目	貸方金額	貸方補助科目	消費税額	借方区分	貸方区分
01/10	売掛金	19,140	売上高	1,740	売上高	17,400	高橋 海琉 仙台550c2211		課税売上10%	外税
01/10	売掛金	8,800	売上高		代行料	8,000	高橋 海琉 仙台550c2211		課税売上10%	外税
01/10	立替金	1,000	現金		現金	1,000	高橋 海琉 仙台550c2211			
01/10	立替金	1,100	現金		現金	1,100	高橋 海琉 仙台550c2211			
01/10	立替金	19,730	現金		現金	19,730	高橋 海琉 仙台550c2211			
01/10	立替金	6,600	現金		現金	6,600	高橋 海琉 仙台550c2211			
01/12	売掛金	1,100	売上高		重量税	1,000	松田 俊夫 伊勢志摩町2421			

「弥生会計-振替伝票」

「弥生会計-振替伝票」

仕訳と同じように借方、貸方の両方が記載された振替伝票の形式でインポートされます。(伝票 No. 8 に複数の仕訳データが集約されます。)

借方勘定科目	借方金額	借方補助科目	消費税額	貸方勘定科目	貸方金額	貸方補助科目	消費税額	借方区分	貸方区分
売掛金	19,140	売上高	1,740	売上高	17,400	高橋 海琉 仙台550c2211		課税売上10%	外税
売掛金	8,800	売上高		代行料	8,000	高橋 海琉 仙台550c2211		課税売上10%	外税
立替金	1,000	現金		現金	1,000	高橋 海琉 仙台550c2211			
立替金	1,100	現金		現金	1,100	高橋 海琉 仙台550c2211			
立替金	19,730	現金		現金	19,730	高橋 海琉 仙台550c2211			
立替金	6,600	現金		現金	6,600	高橋 海琉 仙台550c2211			
重量税									
借方合計	56,370			貸方合計	56,370			貸借/バランス	0

【財務データ出力-詳細設定】画面へ税区分に関するメッセージを表示しました。【利用内容別売上仕訳】画面も同様に変更しました。(※「弥生会計」、**「勘定奉行」**連携両方)  
 また、見出しに関する表現を変更しています。(※「弥生会計」連携のみ)

**「弥生会計」の場合**

インポートした仕訳データと事業所データに一致しない項目がある場合、一致しない項目をどの項目に対応させるか、「弥生会計」側のマッチングリストで設定します。

税区分は財務システムのマッチングリストを参照してください

出力有無	借方科目[税区分]	貸方科目[税区分]
<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	100 現金 [別]	500 売上高 [ ]

**「勘定奉行」の場合**

仕訳データ内に税区分が含まれませんので、「勘定奉行」と勘定科目をそろえる必要があります。勘定科目や補助科目の税区分は「勘定奉行」側で設定します。

税区分は財務システムの勘定科目と同じ設定にしてください

出力有無	借方科目[税区分]	貸方科目[税区分]
<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	100 現金 [別]	500 売上高 [ ]

見出しの[税]表現を変更※「弥生会計」のみ  
 (従来)借方科目[税] → (変更後)借方科目[税区分]  
 (従来)貸方科目[税] → (変更後)貸方科目[税区分]